

第 92 回スポーツサイエンス研究会

The 92th Sport Science Seminar

中田大貴、宮下政司、曹振波、宮本直和、柴田愛、時澤健、内田雄介
Hiroki Nakata, Masashi Miyashita, Zhen-Bo Cao, Naokazu Miyamoto,
Ai Shibata, Ken Tokizawa, Yusuke Uchida

早稲田大学スポーツ科学学術院

Faculty of Sport Sciences, Waseda University

スポーツ科学研究, 8, 319, 2011年, 受付日:2011年10月28日, 受理日:2011年10月28日

2011 年 9 月 22 日(木)、早稲田大学所沢キャンパス 100 号館にて、「第 92 回スポーツサイエンス研究会」が開催された。National Taiwan Normal University (台湾師範大学)より Heng-Ju Lee 助理教授をお迎えし、「Biomechanical and Neuroscientific Analysis of the Control of Human Locomotion and Posture」というテーマでご講演頂いた。Lee 先生は、歩行やジャンプの着地に関するバイオメカニクス的研究をされている第一線の研究者である。また National Taiwan Normal University の野球部監督、アスレチックトレーナーとして、スポーツ現場でもご活躍されている。プロ野球の埼玉西武ライオンズ現監督である渡辺久信

氏が、台湾のプロ野球でプレーしていた際に、同じチームでアスレチックトレーナーとして従事していた経緯があり、現在も渡辺監督と個人的な交際があるというお話もあった。

ご講演では、13 個の動作マーカーを下肢、上肢、骨盤、体幹、頭部に貼付し、片足での着地 (Single-leg landing) の際の足関節の角度変化、角速度変化等について詳細に検討したデータを示して頂いた。グローバル COE 登録学生をはじめ、早稲田大学スポーツ科学研究科の大学院生、ならびに早稲田大学スポーツ科学学術院の教員も多数参加し、活発な討論がなされた。



写真. 講演の様子